

# 手賀沼が海だった頃

NO. 10

地域の歴史や自然を皆で語ろう

2004. 3. 12

## 手賀沼と松ヶ崎城の歴史を考える会会報

確認調査時の城内



当会は来年度、創立5周年を迎える。その記念総会を4月11日(日)午前中行うと共に、一般の人も参加できる「松ヶ崎城址の現地案内・調査の結果説明会」を同日午後、松ヶ崎町会と共催で開く。松ヶ崎城址は長く未調査だったが、一昨年、昨年と柏市教育委員会により2回の確認調査が行われた。

4月11日

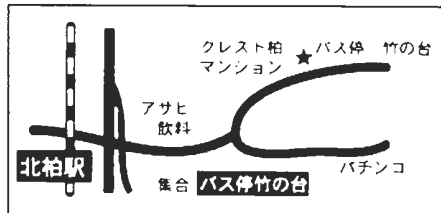
### 松ヶ崎町会と共催 松ヶ崎城址の現地案内・ 調査の結果説明会を開催 当会総会は同日午前中

報告書は来年度の発行となるが、今回同市教委の協力で、文化財担当職員による現地案内・調査の結果説明会が開催できることになった。これらの調査結果で、同城址の考古学的材料の一部が明らかになり、「当時の松ヶ崎城がどのような城であったか」の解明への手がかりとなる。詳細は次の通り。

【総会】▽4月11日(日)午前10時30分～正午▽松ヶ崎集会所  
\*松ヶ崎集会所 元ホテルオークス前の十字路を国道16号方面へ。約500mのところにある、小さな十字路(右手に駐車場、左手に飲食店)を右折して100m。「火の見やぐら」の建っている場所。最寄り駅は北柏駅

【現地案内・調査の結果説明会】(柏市教委の職員に

よる)▽午後1時30分集合  
12時45分、バス停「竹の台」▽松ヶ崎城址(現地案内)



▽参加無料  
\*問い合わせ 04・7131・8879 北さん  
\*当日問い合わせ 090・2523・6113 青山さん  
「松ヶ崎城址の保存」、3月議会に請願  
当会では松ヶ崎城址と周辺森林を保存するために2月27日、柏市議会議長あてに請願書を提出した。(請願書本文は4面)

### 「地域の歴史を話す会」 毎月第一日曜に定例化

会員有志で立ち上げた。詳細は次の通り。  
とが決まった「地域史を話す会」の1回目が2月8日、柏駅前通り商店街会議室で開かれた。参加者は15人で、まずは参加者の簡単な自己紹介。次に江戸時代中期の「手賀沼岸村々図」や沼南町の古墳石室の写真を回覧するうちに、話は古代から常総に広がっていた「内海・香取の海」や「東国の蝦夷」へ。「話す楽しさ」と開かれた1回目だったが、今後毎月第一日曜日の定例化が決まっ

た。詳細は次の通り。  
▽4月4日(日)午後1時3時。\*5月のみ中止▽柏駅前通り商店街会議室(イトーヨーカドーのある通り、レストラン伍平の3階。旧水戸街道近く)  
▽参加無料、どなたでも。  
ワクワクできれば  
中津川督章

例会として、歴史好きの会員が集まって話し合う場が今までありませんでした。それを会に提案した、いわゆる「言いだしっぺ」の私が、自分の間だけ、進行を引き受けることになりました。  
これは勉強会ではありません。よく知らないが関心を持っていること、好きで調べ考えたことなどを話す時間にしたと思っています。その中から、この地域の特徴とか、今まで言われてきたことがおかしいのではないかと、といった発見があれば、どんな小さなことでもワクワクするではありませんか。知識の有無にかかわらず、共に語り合えればいいな、と考えています。



話題は地域の歴史  
あれこれ

# 沼南町 (大井・箕輪)

## 遺跡ウォーク 報告

平成 16年 2月 22日

浦久 淳子

沼南町保健センター集合  
(大島田) — 古墳石室 —

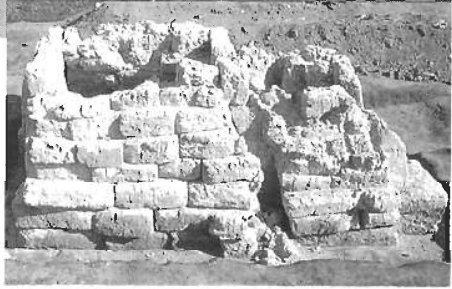
大井船戸貝塚 — 阿弥陀様  
板碑 — 船戸古墳群 — 箕輪  
城址 — 解散 — 中村順二美  
術館 (希望者のみ)

黄色のマンスクヤ、紅・  
白色の梅の花が咲く早春  
の沼南町。思わずジャン  
パーを脱ぐ陽気となった2  
月22日、参加者17人で遺  
跡を巡った。企画・説明・

案内は会員の中津川督章  
さん。

◇ ①古墳石室 ◇

古墳時代後期、7世紀  
前半と推定される前方後  
円墳。調査のために墳丘  
が取り除かれ、天井板を  
除く石室全体を見ることが  
できた。石の色は黄色  
味を帯び、「石室はこのよ  
うになっているんだね」と



軟砂岩を積んで  
造られた石室

皆で中を覗き込む。

石が生産されないこの辺  
りでは、石材として「軟砂  
岩」と呼ばれる、「粘土と  
砂が混じった層」を利用し  
た。手賀沼に面する崖の  
下方や、地面を深く掘り  
下げたときに現われる層  
で、そこから切り出し、直  
方体に整形したらしい。軟  
らかく細工しやすいが、反  
面崩れやすくもある。そ  
の軟砂岩を積んで石室を  
造り、粘土で周囲を覆っ  
て、崩れを防ぐ工夫をして  
いるという。(＊石室は急  
激に風化するため、保存  
はされません)

②阿弥陀様板碑 (沼南町  
指定有形文化財)

筑波石 (黒色雲母片岩)  
で造られた、東葛地域では  
珍しい下総式板碑。地中  
に埋め込まれたままの板碑  
が、社で覆われているのも  
面白い。高さ186cm、横  
幅50cm、厚さ11.5cmと下  
総式らしく重厚だが、建  
立年代は不明。種子(梵字  
で仏菩薩を表したもの)か  
ら、阿弥陀如来三尊像が  
彫られていると推測され  
る。

③大井船戸貝塚



土中の貝の層

古墳時代を思わせる風景  
が広がっていた。  
ここでは沼南町社会教育  
課文化財担当の渡辺健二  
さんが、説明を引き受けて  
くださった。同古墳群は6  
世紀末〜7世紀に造られた  
もので、もつとも密集して  
いる約2haの地域では、小  
型の前方後円墳、円墳、低  
墳丘の計20基が確認されて  
いる。町では、平成10年か  
ら測量調査し、一番古いと  
思われる20号古墳を確認  
調査中。調査は来年度、4  
月以降も行われ、現地見  
学会を開催予定だ。

「あくまで、現時点です  
が」との説明は、その20号  
古墳について。直径20数m  
の円墳で、青いシートをめぐると、トレンチ(調  
査のために掘られた  
溝)内に、上部が欠  
けた2つの埴輪が約  
50cm離れて埋まっ  
ていた。「円筒埴輪で  
す。この2つの埴輪の  
間隔から全体では40  
〜50の埴輪が古墳を  
ぐるりと囲んでいた  
と思われる。埴輪  
列は1重で、その形  
から、埴輪が立てられた  
最後の時期、6世紀末か  
ら7世紀初頭に造られた  
古墳と推測されます」。

次に、周溝(古墳の周  
りに掘られた溝、当時の  
もの)の外側の石棺発掘  
場所へ。6世紀以降、埋  
葬施設が墳丘の中心から  
はずれて裾にある古墳  
が、千葉県北部から茨  
城県南部にかけて見られ  
るという。「20号古墳  
程度の大きさなら、通  
常2〜5カ所程度の埋葬  
施設があります。家族  
などが葬られたのでしょ  
う。この古墳群を造った  
のは、江戸時代というと  
名主クラスの一族では」  
とも。(左ページ)

④大井船戸古墳群

北に手賀沼を一望する  
台地上にある古墳群。手  
賀沼トラストの会員50人  
が2日をかけて清掃され  
たこのことで、古墳の形  
が非常にわかりやすく、



古墳が密集する船戸古墳群

# 「古代東海道を歩く」 (第3回) 報告

平成15年11月16日

「古代東海道を歩く」3  
回目の今回は、「下総国  
府」のあった市川国府台か  
ら我孫子・湖北高校にある  
「相馬郡衙跡」までを辿り  
ました。講師は「柏市史

原始・古代・中世編」の  
執筆者の一人、高田淳  
さん。

当初は9月に予定して  
いたのですが、台風のため  
に延期。参加者も半  
数の25名ほどとなりまし  
た。前回は松戸市常  
盤平から根戸城址・北  
星神社間を2回に分け  
て歩きましたが、今回は  
2つの国府間の全体像を  
感じられるようにと、マ  
イクロバスを使つての推定  
路巡りとなりました。

スタートは下総国府総  
社跡。現在は体育施設  
などが建ち並び、それ  
と分かるものは木の根元  
の「碑」と説明文のみ。  
そこから歩いて下総  
国分尼寺跡へ。国分  
尼寺跡は基石が残さ  
れ、公園となってい  
ました。

推定古代東海道の  
新山遺跡から二十世  
紀が丘。新しい道路  
計画があつたり、住  
宅開発で道路遺跡は  
残されていませんが、  
二十世紀が丘地区の  
小公園に開発当時の  
周辺説明と思われる



講師・高田淳さんとII金ヶ作



湖北高校の相馬郡衙跡

市の説明版に、「官道」が  
通つていたという文章を發  
見。「古代の道路があつた  
ことを知つている人がいた  
んだ」と思わず感激する  
場面も。  
1回目で歩いた金ヶ作官  
道跡を再び辿つたあと、  
増尾城址で昼食。この  
後、我孫子市に入り、鹿  
島前遺跡と野森遺跡の道  
路遺構を見学。我孫子市  
中峠にあるこの道路遺構  
は幅3mほどというもの  
で、中世末期以前のもの  
と考えられているよう  
です。

作られた倉庫群など、往  
時の地方の役所の様子が  
わかります。  
古代は私たちが創造す  
る以上に中央の権力が地  
方にまで及んだことがわ  
かりました。  
今回の「古代東海道を  
歩こう」は、「こ」から先、  
常陸国府までを計画して  
います。皆さん、是非参  
加してください。

## 当会の

### 活動記録

2004年  
1月～3月

#### 「地域史を話す会」

平成16年2月8日

詳細は1面に掲載。参  
加者15人。(柏駅前通り  
商店街会議室)

#### 「地域史を話す会」no.2

平成16年3月7日

沼南町(大井・箕輪)遺  
跡ウォーク

平成16年2月22日

詳細は、2・3面に掲  
載。参加者17人。

「松ヶ崎城址とその周辺  
森林の保存」を求め、3  
月議会へ請願

平成16年2月27日

4面に掲載



古墳時代の話に耳を傾けた

(\*) 渡辺さん、お忙しい  
中、ありがとうございます  
した。

#### ⑤箕輪城址

斜めから矢を射ることので  
きる施設だという。  
もう1カ所の二重土塁の  
場所へと移動。水辺を非  
常に警戒して、手賀沼に  
面した崖に、高い土塁・  
堀・低い土塁が連続して  
築かれている。「生活した  
と思われる遺物がほとん  
ど見つからず、防御施設  
も発達しているので、戦さ  
のために造られた城だろ  
うと言われています」。



箕輪城の土塁はかなりの高さが

松戸を本拠に16世紀後  
半には東葛地域のかなり  
の部分を支配した高城氏  
の支城といわれている。手  
賀沼を北に臨む台地上  
に、4つ(5つという説も)  
の曲輪があつたが、西半  
分が失われた。小規模な  
がら側防施設がよく発達  
した城。「現在残る遺構の  
中で、特徴のあるのは、真  
ん中付近が四角く張り出  
した土塁と、二重土塁で  
す」と中津川さん。  
まず、本郭とII郭の間  
の落差のある土塁と堀を  
見ながら、本郭へ。一部の  
土塁が残るだけだが、四  
角く張り出した部分は明  
瞭だ。外からの敵に横、  
午後3時には、全行程を  
終えた。大井・箕輪の古代  
から中世、少し感じ始め  
た足の疲れも心地よい、遺  
跡めぐりの一日となった。  
\*中村順二美術館「汚れ  
なき感性」と多くの人の心  
を惹きつけながら、27歳で  
亡くなったダウン症の画  
家・中村順二さんの作品  
を収録する私設美術館。

# 松ヶ崎城址と周辺森林の 保存に関する請願書

松ヶ崎城址及び周辺森林につきましては所有者の努力もあつて広範にわたつて緑地が残されていると同時に、縄文時代から現在に至るまで多くの歴史的遺跡を残しております。

歴史的側面から見ますと、縄文時代の住居跡があるのを始めとして、古墳時代の円墳三基、中世

では城郭としての堀、土塁が見られるほか、斜面を含めて防御のための柵跡、虎口の橋の柱跡、建物跡等が確認され、柏市文化財保護委員会でも現状保存が望ましいとされております。千葉城郭研究会をはじめ研究者の間でも、手付かずのままに残っている中世城郭として貴重な

遺跡であり、ぜひとも次の世代へ引き継ぐべき遺産であるといわれております。緑地としての環境面から見ますと、城跡の自然のみでなく、江戸期の創建と思われる「三郡境のお不動様」と慕われた不動尊への参拝道、それに続く古道があります。現在整備が進められております大堀川にも近く、貴重な自然が残されております。

一、松ヶ崎城址保全のため、柏市松ヶ崎腰巻46

9-11ほかの土地を柏市によって借り上げて保存整備をしていただきたい。

二、松ヶ崎城址周辺の斜面林をあわせて保存していただきたい。

平成16年2月27日  
提出者 手賀沼と松ヶ崎城の歴史を考える会  
川上利男

▽ △  
当会では、前掲の請願書を2月27日、柏市議会議長あてに提出しました。

## コラム 時・風・人 (2)

青山和平

2月8日朝、「高句麗遺跡群、北朝鮮と中国が世界遺産へ同時登録」というニュースが流れてきた。これは良いことだと思った。ところが、詳しい人に聞いてみると、かなり裏があ

るらしい。昨年北朝鮮が単独登録を申請した時、中国が反対したという。理由はいろいろ考えられる。まず北朝鮮国境に近い中国吉林省にある、広開土王碑文に代表される高句麗遺跡の存在である。中国側から見れば、高句麗は中国領に存在した歴史的少数民族の一つで、従つて単独でのユネスコ世界遺産には適さないという考え方ができる。

また、経済的見方では、ロシアの沿海州と吉林省、そして北朝鮮による経済圏の構想。これについては、中国側は観光も含めてかなりの資本投下をしていると言われている。

しかしこれだけには終わらない。背後には、古代からの中国辺境の属領という考え方がちらつき、ロシアの沿海州も含めて中国の領土だったことにもつながっている。

つまり、歴史的縦軸と現在という横軸ががちりくりロスしているのである。このことを一番危惧しているの

が、韓国であり、北朝鮮ではないことに注目できる。

我々日本人から見れば、遠い古代のことではあるが、それぞれの民族にとつては、その民族のアイデンティティを支えていく大切な歴史である。また、広開土王碑文には、戦前日本人が深く関わつてもいる。

いろいろな意味で、考えさせられる高句麗遺跡の世界遺産登録問題である。

### 入会のご案内

当会は、地域の歴史や自然を楽しもうと活動している、市民有志の会。年会費は2000円で、申し込みは事務局まで。また会員専用のメーリングリストも開設。「お名前、郵便番号、住所、電話、ファックス、メールアドレス（メーリングリスト参加希望の方のみ）」をハガキ・ファックス・お電話のいずれかでお知らせ下さい。

▽事務局 北絃子  
〒277-0835  
柏市松ヶ崎415-15、  
1-206 Tel. ファックス  
04-7131-8879

### おいしい料理を 食べ歩きましょう♪

女性会員有志でなぜか始まった『食べ歩きましょう』。1回目は「モダンタイムス」で、プルンと縮まった旬のアサリや手作りの生ハムなどイタリアンに舌鼓。2回目は、お茶の香が焚かれた静かな個室で、手打ちのそば会席を食しました。

さて3回目は4月中旬平日(昼間)の予定。現在は女性ばかりですが、どなたでもどうぞ。近くなったら、集合場所などをホームページに掲載、または松平さんへの問い合わせもOKです。

Tel. 04-7133-6438

会報編集・作成  
浦久淳子 Tel. ファックス  
04-7155-2351

☆☆ 会ホームページができました  
<http://www.matsugasakijo.org/>  
皆様の寄稿・投稿をお待ちします。  
☆☆ 松ヶ崎城址のビデオを制作、4書店で販売中(25分、1200円) 柏駅東口浅野書店 / 松葉町ブックス青い鳥 / 北柏駅文教堂 / 我孫子市平賀書店